



# つながり



## 「南予管内愛護班活動等リーダー研修会」が開催されました

11月20日(土)、宇和島市立中央公民館で、「南予管内愛護班活動等リーダー研修会」(愛媛県愛護班連絡協議会と愛媛県教育委員会の共催)が開催されました。

「愛護班」は、昭和37年に愛媛県で結成された、子どもたちの幸せを願い、様々な青少年健全育成活動を行う地域の大人の組織です。「我が子 人の子 隔てなく」をモットーに半世紀以上にわたり、子どもの見守り活動や体験活動、環境整備活動などに取り組んでいます。

今年度のリーダー研修会は、宇和島市の山下文彦さんを講師に迎え、身近な材料を使ったものづくり体験を行いました。愛護班活動関係者をはじめ、PTA関係者、青少年健全育成に携わる方、体験活動に興味がある親子、市町教育委員会担当者など24名が参加しました。

木の枝や割りばし、クリアファイルなどを材料にして、「さるの置物」「とんぼ、チョウのブローチ」「防災笛」の制作を行いました。山下さんにお手本を見せてもらいながら、普段あまり使ったことのない、のこぎりや電動ドリルなどを使って、班ごとに協力して作品を仕上げていきました。



○ おさるさんの耳をつけたり、顔をかいたりするのが楽しかったです。ちょうちょの羽がむずかしかったけど、色ぬりも上手にできました。とても楽しかったです。(子ども)

○ 作ってみると、むずかしいところがたくさんありました。けれど、山下先生に教えてもらってできました。こんなに木の枝で工作ができるなんて初めて知りました。もっと工作をしてみたいなと思いました。(子ども)

○ 子どもに身近な道具をもっともっと使わせないといけないと思いました。(保護者)

○ 子どもたちには、まだ早いかなと思う作業もありましたが、興味をもって、がんばって作っていたので連れてきてよかったなと思いました。他の大人の方が手伝ってくれて、とても助かりました。また、参加したいです。(保護者)

○ 特別な場所に行かなくても、身近な物や地元の人をお願いをすれば子どもたちが楽しめる事業ができると思いました。(市町担当者)

○ 大人になってこういう工作作業はやることもなくなっていたので久しぶりに童心に戻れたような気がします。(市町担当者)



「さるの置物」



「とんぼ、チョウのブローチ」



「防災笛」

研修で作成した小物の「制作手順」は、「地域教育推進課[社会教育G]から」→「研修会情報」にアップしています。愛護班活動、ものづくり体験など、必要に応じてご活用ください。